

蒲生干潟の地形調査②⑧

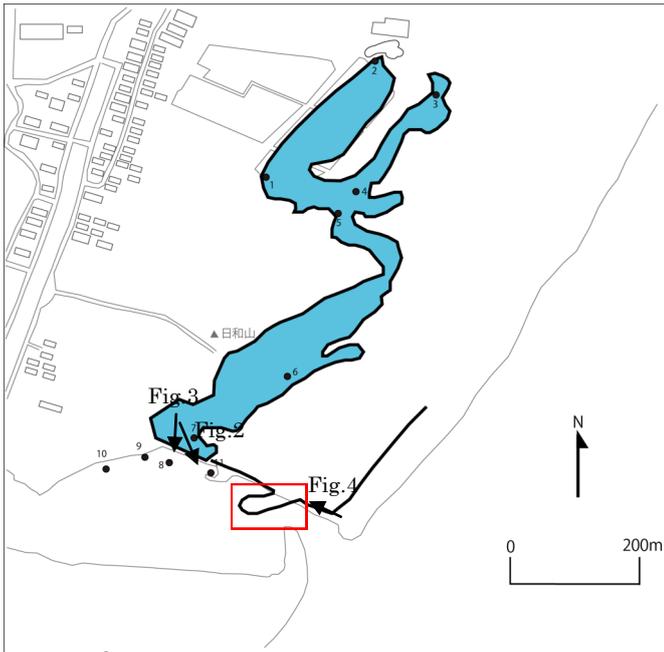


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.2 東側通水部分のようす (西側より撮影)



Fig.3 完全に干上がった中央通水部分 (北側より撮影)



Fig.4 左岸の南側に拡大した砂州 (東側より撮影)

Table.1 塩分濃度

	9月14日	11月9日	増減
ST.1	2.3	2.4	0.1
ST.2	2.2	2.4	0.2
ST.3	2.1	2.4	0.2
ST.4	2.2	2.5	0.3
ST.5	2.2	2.5	0.3
ST.6	1.9	3.0	1.1
ST.7	2.0	3.1	1.1
ST.8	※	※	※
ST.9	※	2.8	※
ST.10	※	2.6	※
ST.11	1.0	※	※

調査日 2017年11月9日 (木) 10:30~12:00 ※干潮時刻12:24 (潮位104cm)

潟湖の水位や形 (Fig.1) は9月の調査の時と大きな変化はなく、潟湖中央付近では部分的に干上がっていた。

3箇所ある通水部分は東側のみ通水しており (Fig.2)、他の通水部分は干上がっていた (Fig.3)。また東側の通水部分には大きな流木が横たわっていた。

河口付近では右岸の侵食は更に拡大しており砂州が小さくなっていた。一方左岸ではFig.1の赤□で囲まれた部分に大きな砂州が出来ており (Fig.4) 河口付近のようすが9月の調査とは大きく変化し河口の位置も南側に移動していた。

潟湖の塩分濃度は全体的に高く、特に南側が上昇が大きい結果となった (Table.1)。

(中田 晋)